

令和6年 診療所における輸血状況調査 集計結果

対象施設数	回答数		合計	回答率
	実績有	実績無		
372	314	16	330	88.7%
	84.4%	4.3%		

主な機能						合計
内科	外科	産科	人工透析	訪問診療	その他	
98	19	20	141	98	25	401
29.7%	5.8%	6.1%	42.7%	29.7%	7.6%	

※複数回答有

I 輸血用血液製剤使用状況

区 分	施設数	使用回数
赤 血 球	311	7,972
血 小 板	48	1,930
血 漿	16	76
全 血	0	0
グロブリン製剤	8	182
たん白製剤	22	856
血液凝固因子製剤	1	6
(再掲) フィブリノゲン	1	6
人ハプトグロビン	0	0
組織接着剤	1	1
その他	0	0
合計回数	407	11,023

II 疾病別輸血状況

疾 病 名	実人数	悪性新生物の内訳(再掲)	実人数
悪性新生物 (白血病を含む)	751	胃	66
血液及び造血器	602	結腸及び直腸	50
循環器系	43	肝及び肝内胆管	26
消化器系	168	気管、気管支及び肺	23
筋骨格系及び結合組織	240	乳 房	27
腎尿路生殖器系 (透析患者含む)	393	子 宮	65
妊娠・分娩	78	悪性リンパ腫	29
損傷、中毒及びその他の外因	10	白 血 病	194
その他の疾患	200	そ の 他	152
不 詳	200	不 詳	119
合計人数	2,685	合計人数	751

III 年代別及び男女別輸血状況(実人数)

年代／性別	0～4歳	5～9歳	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳
男	0	1	0	5	1	8
女	1	3	0	2	11	68
年代／性別	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
男	22	77	158	374	436	150
女	26	69	85	246	448	216
合計人数						
男	1,232					
女	1,175					

IV 入院・外来・訪問別輸血状況

輸血対象	施設数	実施回数	
		実施回数	構成比
入 院	57	3,159	31.7%
外 来	159	2,375	23.8%
訪問診療	112	4,433	44.5%
合計回数	328	9,967	

※複数回答有

【調査概要】

1. 調査対象

令和6年1月1日から同年12月31日までに血液製剤の供給実績があった、都内の診療所
2. 対象期間

令和6年1月1日から同年12月31日までの1年間
3. 調査方法

令和7年1月31日に別紙「調査票」を各医療機関管理者宛てに郵送
4. 回答方法

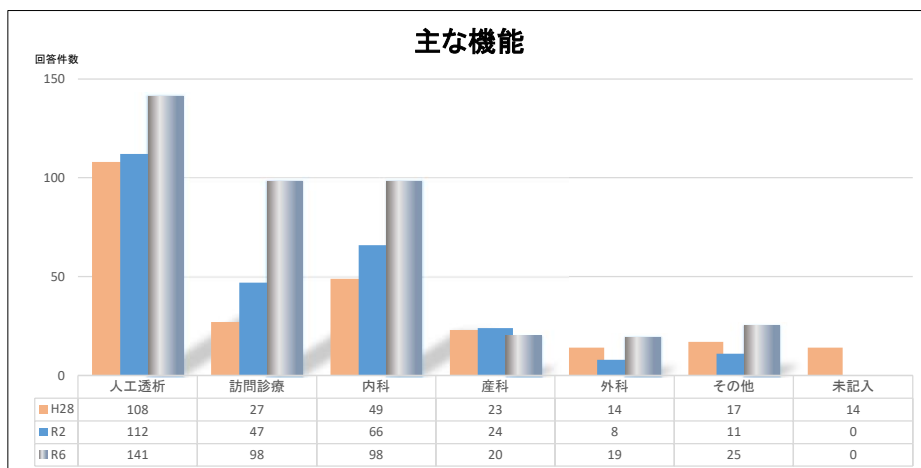
郵送、メール、電子回答

# 令和6年 診療所における輸血状況調査 集計結果（推移）

## 1 対象施設・回答数

	平成28年	令和2年	令和6年	前回は100とする 指数
対象施設数 (診療所)	293	304	372	122.4
回答数 (診療所)	211	229	330	144.1
	72.0%	75.3%	88.7%	
輸血実績数 (診療所)	198	217	314	144.7
	67.6%	71.4%	84.4%	

## 2 診療所の主な機能



※複数回答有。H24未調査

## 3 輸血用血液製剤使用状況

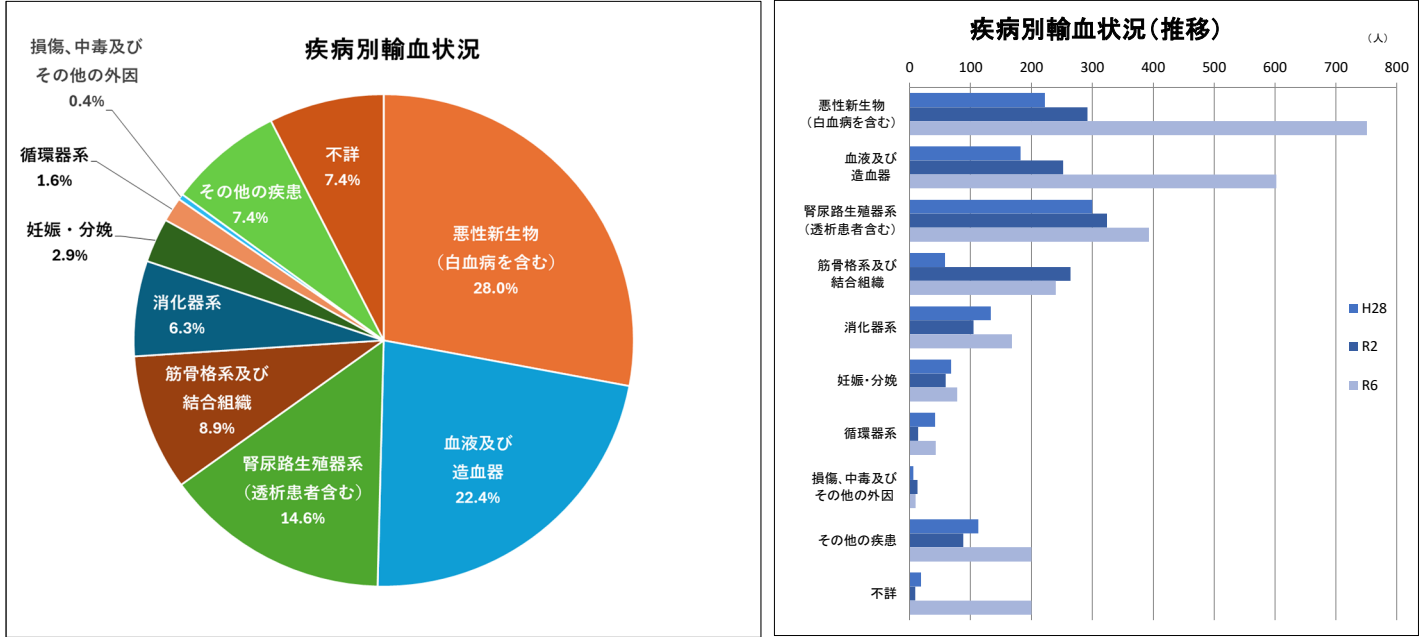
- (1)赤血球、血小板の使用回数が大幅に増加した。
- (2)全血の使用はなかった。

区 分	H28		R2		R6		前回は100とする 指数	
	施設数	使用回数	施設数	使用回数	施設数	使用回数	施設数	使用回数
赤 血 球	189	3,109	212	5,404	311	7,972	146.7	147.5
血 小 板	19	205	24	1,125	48	1,930	200.0	171.6
血 漿	19	147	20	84	16	76	80.0	90.5
全 血	0	0	0	0	0	0	—	—
グロブリン製剤	20	407	14	167	8	182	57.1	109.0
たん白製剤	28	1,181	22	993	22	856	100.0	86.2
血液凝固因子製剤	3	10	3	3	1	6	33.3	200.0
（再掲） フィブリノゲン	0	0	0	0	1	6	—	—
人ハプトグロビン	0	0	0	0	0	0	—	—
トロンビン（人由来）	2	6	1	16	—	—	—	—
組織接着剤	1	1	1	106	1	1	100.0	0.9
その他	0	0	0	0	0	0	—	—
合計回数	281	5,066	297	7,898	407	11,023	137.0	139.6

※トロンビン（人由来）はH28に供給終了。

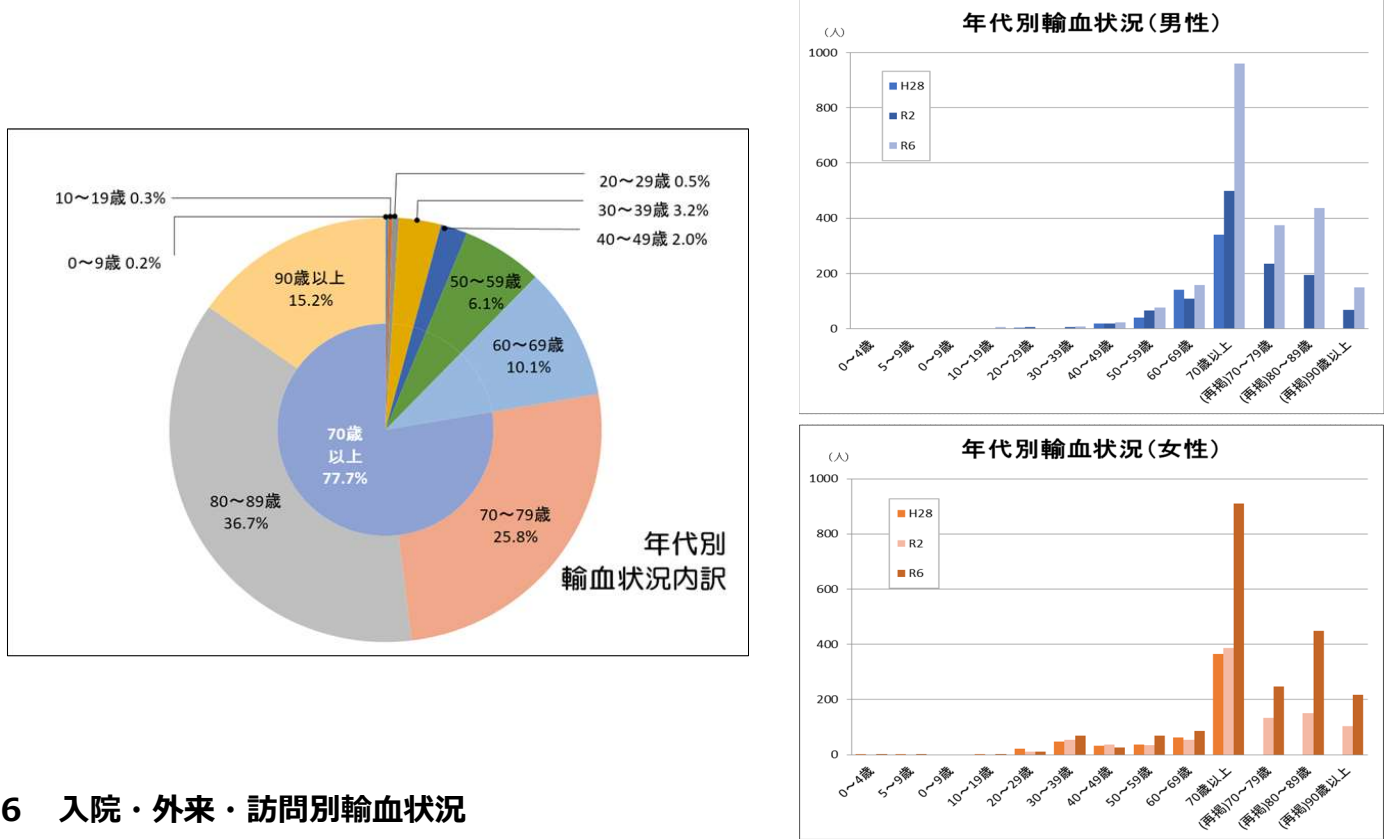
4 疾病別輸血状況

疾病別では悪性新生物の治療に約3割が使用されており、前回調査（約2割）より増加している。



5 年代別及び男女別輸血状況（実人数）

男女ともに70歳以上への使用が全体の約8割を占めており、前回調査（約7割）より増加している。



6 入院・外来・訪問別輸血状況

前回調査より訪問診療での輸血実施が施設数、実施回数ともに増加している。

輸血対象	H28			R2			R6		
	施設数	実施回数		施設数	実施回数		施設数	実施回数	
			構成比			構成比			構成比
入院	51	1,860	45.6%	40	551	14.7%	57	3,159	31.7%
外来	137	1,699	41.7%	125	1,436	38.3%	159	2,375	23.8%
訪問診療	26	518	12.7%	51	1,764	47.0%	112	4,433	44.5%
合計回数	214	4,077	—	216	3,751	—	328	9,967	—

※複数回答有。  
※いずれの設問も、輸血実績があるが未回答の施設有。